

2024年11月

1月20日(月)、釧路労災看護専門学校の麻酔科講義に3名の研修医が参加しました。講義では心停止状態になった人が何も処置されずにいた場合、時間の経過とともに生存率は大きく低下し、約10分後には生存の可能性はほとんどなくなってしまい、早期に適切な一次救命処置が行われれば命が助かる確率は高くなることから、自分が人命を救う立場になる可能性があることを意識し、質の高い胸骨圧迫、一刻も早いAEDの使用について誰もが心肺蘇生を学ぶ必要性について講義していただき、研修医もAED等を使った実習に加わり、学生に手本を示していました。

